

# 因島郷心会

—因島郷心会は会員様の笑顔と共に歩みます—

KYOSHINKAI  
INNOSHIMA

No.276



### 会員様紹介

窪田秀和様  
瀬戸内電気工業株式会社  
代表取締役社長

### MAZDA車のあるしまなみ風景

因島出身イラストレーター  
BOOSUKA(ブラスカ)氏紹介

### モーターズ様紹介

若松元様  
内海エンジニアリング株式会社  
自動車整備工場 自動車部部长

### 活動報告

チャリティゴルフコンペ・カーブ観戦

## 【モーターズ様紹介】 内海エンジニアリング株式会社 自動車整備工場 若松元様 自動車部部长



愛車はNDロードスター。子育てが落ち着き、念願がなって手に入れたロードスターを前に笑顔を見せて下さいました。

瀬戸田にある内海造船(株)のグループ会社、内海エンジニアリング(株)の自動車整備工場として、フォークリフトのメンテナンスや、新車、中古車、全メーカーの自動車販売、修理、年次点検、自動車傷害保険など、クルマに関することなら何でもお任せできる会社です。因島・瀬戸田・愛媛県上高町エリアの地元に着。クルマのことだけでなく、地元のことを熟知したスタッフさんがおられます。どんなことでもお気軽にご相談ください！



### 内海エンジニアリング株式会社 自動車整備工場

尾道市因島田熊町4134-1  
TEL(0845)22-4776  
FAX(0845)22-5194



## 因島郷心会 活動報告

### 尾三郷心会合同 チャリティゴルフコンペ

4月18日(日)尾道うずしおカントリークラブにて、尾三郷心会合同チャリティゴルフコンペを開催いたしました。

因島・尾道・三原の3郷心会合計で36名、因島13名の参加でした。屋外イベントですが、コロナ感染防止対策として検温、手洗い消毒等を行った上で開催いたしました。当日は、早朝より雨も降る寒い中でのプレーとなり、皆さんスコアも延びなかつたようです。優勝者は因島郷心会の村上祐司様(因の島ガス)でした。このような状況で閉会式ができなかつたため、優勝のご挨拶をお聞きできなかったのが残念でした。尚、チャリティ募金22,000円は義援金として、尾道市社会福祉協議会へ納付させて頂いております。ご協力頂きました皆様誠にありがとうございます。※紙面の関係で参加者様全員の写真を掲載できませんでした事をお詫びいたします。



### 2021年度カーブ観戦会 (VS DeNA)

因島郷心会では、5月16日(日)に26会員62名様参加で、2021年度のカーブ観戦会(VS DeNA)戦を開催いたしました。

今回は、広島県に緊急事態宣言が発令される中、また前日からの雨でも開催が危ぶまれ、参加予定の会員様も最後まで心配される中での開催となりました。

今回はチケットのみ配布とバスツアーの両方を行いました。バスは乗車人数の半分以下で募集し、検温・手洗い消毒を行うなどやはり徹底した感染予防策を実施して乗車頂きました。



試合の方は、カーブがDeNAに圧倒的に攻められました。それを凌いでなんとか引き分けに持ち込め、皆様ほつとした様子でした。途中、雨も降り、参加された方は準備も含めてお疲れになられたと思います。このような状況の中、ご参加頂きました皆様にはたいへん感謝申し上げます。

(因島郷心会 今後の予定  
サンフレッチェ観戦会(秋頃予定))



皆様に、因島郷心会を意識頂けることとマツダ車をご覧頂く機会を設けるため、広報誌・マツダ車カタログを入れるカタログスタンドを会員様に設置させて頂きました。定期メンテナンスも行って頂きます。ご協力頂きました会員様ありがとうございます。



因島郷心会URL

因島郷心会は  
会員様の笑顔と  
共に歩みます

30th ANNIVERSARY  
24H LE MANS 1991 WINNER  
#55 MAZDA 787B

発行：因島郷心会 / 尾道市因島土生町1762-38 因島商工会議所2階  
TEL (0845)22-7357 e-mail: innoshimakyo@mazda.co.jp  
撮影・制作：村上アーカイブス 担当：麻生祥代 aso@ermjp.com



マツダ株式会社 URL



村上アーカイブス URL

# 【因島郷心会・会員様紹介】

窪田秀和様

代表取締役社長  
瀬戸内電気工業株式会社

因島郷心会の発足当初にご入会長いお付き合いをして下さっている瀬戸内電気工業様を訪問しました。何と、会社の前にはレース仕様のNDロードスターが、真夏の光を浴びて燦然と輝いていました。

「郷心会員にも共通のメンバーが大勢いる、因島ロータリークラブの仲間たちと自動車同好会を組んで、毎年岡山のマツダファンフェスタのマツ耐に参戦しているんですよ」と照れくさそうに笑顔でお話し下さった窪田社長。

若者がクルマに夢中だった時代：広島での大学生時代には自動車部に所属し、セリカでダート・トライアルにも参戦しておられたのだ



そうですね！卒業後は地元因島に戻り、3代目として家業を継がれ、結婚してお子さんが出来る」と自然とファミリーカーに乗る生活に。

長い年月の後、愛車を駆ってレースの世界を楽しむ機会が再びやってきました。「郷心会会員としてMAZDA車を購入したんですよ。若い頃憧れていたロータリーエンジンの車はもう無いけれど、スポーツカーならロードスター、ロードスターに乗るなら、やっぱりレースに出てみたいよね！」と、購入前にレース仕様のNR-Aを選ばれたというお話から、心の中で消えることの無かったモータースポーツへの熱い想いが感じられました。

購入されたその年から「マツダファン・エンデュランス（通称：マツ耐）」に参戦。因島ロータリークラブさんの「ポリオ撲滅活動」のPRを掲げ、クラブのメンバーや、ご子息、会社の従業員さん、仲間と一緒に3年連続で参加されています。「参加するにもハードルが低く、みんなで行って一緒に楽しめるのがマツ耐の良いところですよ。ね。NDは素直な、よくできたクルマで走らせていて



とても楽しいんです」と笑顔を見せる窪田社長。レース参戦は年に1回ですが、一昨年はTSタカサーキットを貸切つてクラブのメンバーや仲間と走行会をされるほどの熱心さです。最初は負けてなかったのに、練習すればするほど息子の方が速くなってね」と苦笑いされつつも「この走る楽しさを、同乗走行などして、免許を取る前の若い子たちにも経験させてあげたいなあ」と、始終穏やかな笑顔でお話して下さいました。



**瀬戸内電気工業株式会社**

尾道市因島土生町 675 番地-1  
TEL (0845) 22-1488  
FAX (0845) 22-3371

瀬戸内電気工業株式会社様 URL

対応してあげたい」との想いを持っておられます。「つい先日(7/8)の豪雨災害で、IC付近の土砂崩れで因島大橋が通行止めになりました。災害時に実際に動ける人は限られます。当然島外の業者さんは島に渡ることが出来ません。直接のお付き合いのない島内の方から、すがすがしい気持ちで当社を探し、床下浸水になった電気が止まった」と相談の連絡を頂きました。配線工事などをやる我々の仕事は、普段はお客さんと直接やり取りをする機会はありません。それでもそんな緊急時には、こんなことをしてでも、困っている人を助けてあげたいんです。「電気はライフラインそのものです」と静かながらきつぱりと言いつつ切られた窪田社長。穏やかな笑顔でレースのことを語られる時とまた違ったお仕事に対する強い「覚悟のようなもの」が印象に残りました。「何か困っている人を助けるような事業をやってみたいね」という奥様の言葉がキッカケとなり、電気工事部門とは別に福祉タクシーも始められたそうです。

「コロナの影響でファンフェスタが開催されないのはさみしいですね。今年開催されたら、仲間と一緒にマツ耐に参戦する気満々ですよ」とインタビューの最後にも生粋のレース好きの一面を見せて下さいました。

## 因島出身 イラストレーター BOOSUKA氏紹介



表紙のイラストを手掛けて下さったBOOSUKA氏をご紹介します。

1960年生まれ、広島県因島出身。京都精華大学美術学部造形学科洋画クラス卒業。大阪・東京にて広告、雑誌、絵本等の仕事で活躍中です。2006年4月末に拠点を東京から故郷である広島に移されました。中国新聞の「ぶらぶら日記」の連載や、広テレの「広島Max」のキャラ



クター・ジュージュイ星人等を手がけられています。2014年に東広島にある私設・犬猫保護団体「アンの家」で保護犬のsoraと出会ったことを機に、「保護犬猫活動」をされている方たちと多く出会われ、それがご縁で個展を開催されていたりもしています。

MAZDA車のある  
しまなみ風景

## 広島が勝った、 MAZDAが勝った… 興奮したあの日から30年。

今からちょうど30年前の  
1991年6月23日。  
世界最高峰の耐久レースと  
言われる「ル・マン24時間レース」で、  
MAZDA787Bが日本車初の  
総合優勝という快挙を成し遂げ、今年  
その30周年の節目を迎えました。



因島大橋記念公園  
大浜埼灯台マップ